

令和6年度

指導計画・評価計画表

【3年生 美術科】

観点 ① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

| 学習単元 | 観点 | 単元の評価規準（学習評価表） | 具体的評価規準（おおむね満足B） | 評価方法・場面 | 弱点克服 |
|--|----|--|--|------------------------------------|---------|
| 「鉛筆で描く絵」 ～デッサンから 自画像へ～ 4～5月 | ① | ・描画の基本技能を身につけることができる。 ・観察して描くことができる。 | ・制作の手順や用具の使用法などが理解できる。 ・観察をもとに的確に描画を進めることができる。 | 作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。 作業への取り組み。 | 作業手順の確認 |
| | ② | ・観察を元に絵画表現を意識した豊かな表現ができる。 | ・材料の特性を生かした表現ができる。 ・観察をもとにした表現ができる。 | | 鑑賞を生かす |
| | ③ | ・意欲を持って粘り強く描くことができる。 ・見本作品や友人の作品を鑑賞できる。 | ・意欲をもって継続的に取り組む姿勢が見られる。 ・自他の作品のよさを感じとることができる。 | | 自己評価シート |
| 「自画像」 ～表現のする ための技法～ 5月～7月 | ① | ・観察をもとに絵画表現する。 ・様々な技法を理解し制作に生かすことができる。 | ・線や鉛筆の濃淡など描写の技術を工夫して描ける。 ・モダンテクニックを表現に生かすことができる。 | 作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。 作業への取り組み。 | 作業手順の確認 |
| | ② | ・表現のための描写や表現方法の工夫ができる。 ・モダンテクニックを表現のために効果的に使える。 | ・表したい雰囲気を効果的に表現することができる。 ・見本作品の鑑賞を作品作りに生かせる。 | | 鑑賞を生かす |
| | ③ | ・鑑賞や観察を生かして作品作りができる。 ・様々な表現方法について理解し制作に生かせる。 | ・自他の作品のよさを感じとり作品に生かせる。 ・丁寧な作業を継続して作品を仕上げるることができる。 | | 自己評価シート |
| 「京都奈良の仏像」 9月 | ③ | ・文化財を美術的な視点での鑑賞することができる。 | ・京都奈良の仏像や建築物について興味を持ち、意欲的に学習することができる。 | 鑑賞レポート | 鑑賞の事前指導 |
| 「篆刻と石彫」 9月～12月 | ① | ・材料の性質を理解し作品作りに生かせる。 ・道具を適切に使用して制作を進めることができる。 | ・ヤスリ、耐水ペーパーなどの効果的な使用方法を考え、美しく作品を仕上げるることができる。 | 作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。 作業への取り組み。 | 作業手順の確認 |
| | ② | ・石材や篆書体の特徴をいかして制作できる。 ・表現意図に合う方法を工夫してデザインできる。 | ・材料の特性を生かした発想で表現ができる。 ・素材の良さを引き出す表現を工夫できる。 | | 鑑賞を生かす |
| | ③ | ・篆刻の成り立ちや用途について興味を持ち、意欲を持って学習することができる。 | ・意欲をもって継続的に作業に取り組むことができる。 ・見通しをもって作業を進め完成させることができる。 | | 自己評価シート |
| 「切り絵」 1月～3月 | ① | ・制作の手順、技法、道具について正しい知識をもち、表現の工夫をしようとしている | ・ラシャ紙を切り抜いていく中で、ばらばらにならず一枚の切り絵として成り立つことが理解できる。 ・切り跡の美しい作品制作を行うことができる。 | 作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。 作業への取り組み。 | 作業手順の確認 |
| | ② | ・切り絵の良さや白黒の表現の強さを意識して、表現意図に合う方法を工夫するなどして制作できる ・切り絵の材料や技法の特徴をいかした原画の制作をすることができる。 | ・線の強弱、面の配分など適切な選択をし、バランスのとれた美しい作品制作をすることができる。 ・モノトーンの強さを生かし適切に単純化できる。 | | 鑑賞を生かす |
| | ③ | ・意欲的に美術活動に取り組む、作品を仕上げる事ができる。 | ・意欲をもって継続的に作業に取り組むことができる。 ・見通しをもって作業を進め完成させることができる。 | | 自己評価シート |

